

公表:令和 4年 3月 9日

事業所:こまがたけ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	78%	22%		今あるスペースを最大限に活かせるよう努めさせて頂いております。学習室と療育スペースを分けスケジュールに沿って活動する事や、物の配置場所などを工夫して快適な空間作りに努めています。コロナの影響もあり、近年は出来ていないが、週末には外出レク等を状況を加味しながら取り入れていけるよう努めています。
	②	職員の配置数は適切であるか	78%	22%		1人1人にしっかりと目が行き届くよう国から定められた配置数より多く配置しております。保育士、児童指導員、強度行動障がい研修を受講した職員がおります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	22%	67%	11%	段差がある箇所もあるので今後バリアフリー化に向け努めていきたいと思っております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	67%	22%	11%	PDCAサイクルに加え、毎日のミーティングの中で改善を図るための意見交換を行い療育内容の見直し改善につとめております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89%		11%	保護者様より様々なご意見を頂きながら業務改善に努めております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%	22%	11%	公表制度に伴いHPIにて、職員と保護者様からの集計結果を公表しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	45%	45%	10%	ご利用なさっているお子さまの保護者の皆様や見学に来ていただいた方々からのご意見、また関係機関からの評価を頂いております。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	89%	11%		療育や、障がい、虐待等、職員一人1人が参加しスキルアップに努めております。今後もスキルアップにつなげる研修への参加を行って参ります。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%		保護者様がお子さまに対して求めている事や職員と保護者様が必要と感じた事を話し合いした上でアセスメントを行いお子さまと保護者様のニーズに沿える形で療育が行えるよう児童支援計画に携わっております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	78%	22%		現在はツール使用は行っておりませんが、より効率的に一人一人の療育支援に特化したツールに繋がるものを今後も取り入れていきたいと思っております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	22%	11%	主に児発管、指導主任が取りまとめ、会議やミーティングの中で職員の意見を取り入れながら、より良い活動内容になるよう努めております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	33%		固定化されぬよう過去の内容等を見直し、四季や児童の成長に合わせて適切な活動内容になるよう努めております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	78%	22%		日々の活動の中職員間での情報交換や意見交換、保護者の方との情報交換を行いながら課題を決め療育活動を進めております。

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%		個別計画と集団活動でのすり合を職員間で行いながら情報の共有を行い意見交換を重ねながら計画を作成いたします。また保護者の皆様にご相談しながら一人一人に合った計画で進められる様今後も努めてまいります。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	89%	11%		毎日のミーティング時間を設け職員と話し合いを行います。昨日の出来事や変化を踏まえての今日の対応や注意事項などを職員間で確認しております。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	89%	11%		支援経過記録を記録する際にその日の振り返りを行いながら児童1人1人の行動や出来事を話し合い療育内容や支援の質を高められる様努めております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	78%	22%		支援経過記録を記録し、その日勤務以外の職員にも翌日に送りの際に情報の伝え忘れが無いよう努めております。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	89%	11%		日々の療育活動の中で必要と感じる事、今後必要となってくるであろう支援を視野に入れモニタリングを定期的に行っております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	78%	22%		ガイドラインにそっての基本は守りながら保護者様からのご意見ご要望や現状の確認を行ったうえで、必要に応じ支援活動を行っております。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	89%	11%		管理者、児童発達管理責任者が主に参加いたしますが、状況に応じてはその児童に最も精通している職員も同行し参加しております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	89%	11%		学校へのお迎え時に状況や出来事の引き継ぎを行っております。必要に応じて時間を作って頂き情報の共有できる時間をもうけさせて頂く等学校、事業所間の連携がスムーズに行え、かつアクシデント時には迅速な対応が図れる様今後も努めてまいります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	44%	56%		医療的ケアが必要な児童を受け入れる前には保護者様としっかりと話し合いを重ね、職員体制を整える等の準備が必要と考え、緊急時には常に連携をとれる様配慮し主治医との連携体制を整えてからのご契約を行う方向で考えております。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	78%	22%		現在利用されている未就学児が通われている保育所や、他の事業所との情報共有を定期的に行っております。統一した支援を行っていくよう配慮させていただいております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	44%	56%		現時点で例はありませんが、そのような状況になった場合には内容の提供をスムーズに行えるようしております。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	78%		22%	療育センターや保健師、併用している支援センターを通し研修会や勉強会に参加し、情報交換等においても連携しております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	22%	45%	33%	保護者様との話し合いが必要となり、事業所内のみでの判断が難しい為段階で行っていませんが今後のご意見やニーズ、必要性に応じてそういった機会を設けていきたいと思っております。今後はオンラインを通して活動の場を設けられるか等の話し合いも視野にいれて行きたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	78%	22%		コロナの影響もあり、zoom等が主となりますが、市内で行われております連絡協議会を通し他の事業所との連携、情報交換を行っており、今後も継続しておこなってまいります。

⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	89%	11%		送迎時や面談を通し常に情報共有を行っており、保護者様との共通理解に今後も努めてまいります。
㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	56%	44%		支援相談を定期的に行っております。その中ではペアレントトレーニングを兼ね備えた内容の相談である事も多くあります。より迅速に解決に繋がるよう職員一人一人の意識を高めた支援に努めさせていただきます。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	89%	11%		利用契約時にご説明をさせて頂いており、ご利用開始後に関しましてもご不明な点等がある場合はお答えさせて頂いております。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	89%	11%		送迎時や家庭訪問を通し常に情報共有を行っており、保護者様との共通理解に今後も努めてまいります。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	22%	56%	22%	現在は行っておりませんが、今後様々な需要にお応えしていきたいと考えております。保護者回等に関して予めアンケート等を行い必要に応じて開催を視野に入れていきたいと思っております。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89%	11%		現段階までに苦情はなかったが、相談等に対し、早い段階で対応出来るよう今後も努めてまいります。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	67%	33%		月の予定表の他、外出レクの前日、前々日には再度、持ち物や必要な準備を記載した通信やおたよりを通し通知しております。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	100%			職員に関しては雇用契約を交わす際に守秘義務契約書を結んでおります。書類の保管に関しては職員の出入りみのみの事務所保管を行う事で流出予防に努めております。
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	89%	11%		保護者様には分かり易く、簡潔に、しっかりと伝えるよう配慮しております。また児童は視覚で捉えやすいよう絵カード等を使用しながらお伝えしております。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	45%	22%	以前は夏祭り等、地域住民を招待し小さな縁日を行っていましたがそれ以降は行っていない、またコロナ禍の中で自粛しております。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	78%	22%		コロナ感染防止の観点から、職員や利用者感染の疑いが見られた場合の対処法等を研修を通して九通認識しております。また、ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症に対応する為の事業所内研修を行っているほか、通信等で保護者様には流行時の注意喚起を行っております。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	89%	11%		津波や火災時に対する非常災害の避難訓練を国で定められた回数行っているほか、消防職員の方に来ていただく等取り組んでおります。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	89%	11%		虐待に対する知識向上と関わり方の見直しを日々のミーティングにおいても行っております。また定期開催される虐待防止研修に参加し、会議を通し施設内研修を取り入れております。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	78%	22%		ご利用契約時にご説明をさせて頂いており、支援計画、支援経過記録の記載も毎日行っております。やむを得ずの拘束を行う場合の基準に対するご説明も重ねてさせて頂いております。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	78%	22%		ご見学時、ご利用契約時にアレルギーチェックの確認を行っております。現在はアレルギーのある児童の利用は有りませんが今後の場合に備えご対応していきたいと思っております。

④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	89%	11%		ヒヤリハットを作成した場合は、速やかに情報共有を行い、事故の防止に今後も努めてまいります。
----	----------------------------	-----	-----	--	---